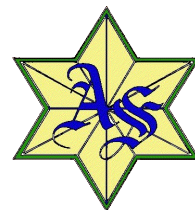


# 主体的・対話的で深い学び の実現をめざして



## 令和4年度 麻生総合高校の授業改善に向けた取り組み

麻生総合高校では、新しい学習指導要領に掲げられている「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、組織的な授業改善に取り組んでいます。

令和4（2022）年度は、4年間にわたる授業改善推進計画の3年目になります。本年度も、学校教育目標と3つのポリシー、授業改善全体テーマ、令和4年度重点項目を踏まえて、各教科において教科での学びを通して育成したい資質・能力を検討し、具体的に取り組むアクションをまとめました。現在はアクションプランに基づいた授業の実施と改善に取り組んでいます。

今後、PDCAサイクルの観点から、各教科で中間検証と年度末検証を行い、年度末には全体での成果報告会などを予定しています。また研究授業の相互参観や授業改善研修会の開催などを通して、各教員の実践の共有と授業力向上を図ります。

授業改善 全体テーマ	「主体的・対話的で深い学びの実現をめざして」
令和4年度 重点項目	<ul style="list-style-type: none"><li>● 主体的な学びに向けたICT（Google Workspace等）の活用（継続）</li><li>● 深い学びに導く授業設計（単元設計）</li><li>● 対話による思考力・判断力・表現力の向上</li></ul>

## 1. 国語科

### （1）教科での学びを通して生徒に身につけさせたい資質・能力

①	国語の特質を理解しそれを適切に運用したり表現したりする能力
②	他者の考えを受容したり批判したりするための思考力や想像力
③	言葉による見方・考え方を働かせながら、自己を向上させようとする姿勢

### （2）教科として取り組む具体的なアクション

①	単元目標に即した表現活動を計画的に授業に盛り込む。
②	ICT機器やAI活動を効果的に用いて、生徒が多様な立場や価値観、考え方に触れる機会を増やす。
③	授業を通じて、「なにができるようになったのか」を生徒自身がふりかえる場面を適宜設ける。

## 2. 地歴公民科

### (1) 教科での学びを通して生徒に身につけさせたい資質・能力

①	主体的に社会の動きや歴史、地理的事象に関心を持ち探究しようとする姿勢
②	基本的な知識を身につけ、何が理解できているかを自分で分析できる能力
③	資料などを用いて根拠をもとに自分の言葉でなぜ、どうしてを考察する能力

### (2) 教科として取り組む具体的なアクション

①	スライドなどのICTを活用するとともに、学習の振り返りで疑問に思ったことなどを整理して自分の言葉でまとめさせる。
②	単元のまとまりを踏まえた単元テスト、確認テストを行う。また、学習の振り返りの中で理解が深まったこと、わからなかったことをまとめさせる。
③	単元や授業の問い(テーマ)を毎時間生徒に示して授業を進める。授業で資料活用場面を増やし、わかったことなどを引用元を明確にして自分の言葉でまとめさせる。

## 3. 数学科

### (1) 教科での学びを通して生徒に身につけさせたい資質・能力

①	基礎的な知識及び技能の習得とその定着
②	問題を粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断し解決しようとする態度
③	思考の過程を可視化できるよう、簡潔・明瞭・的確に表現する力

### (2) 教科として取り組む具体的なアクション

①	頻繁に小テストを実施することで、達成感を与える。
②	ICT等を活用し、授業の指導方針や評価基準の共通化を図る。
③	高校入学以前の学習内容の確認をテストや発問で行い、基礎力の定着や理解を図る。

## 4. 理科・農業科

### (1) 教科での学びを通して生徒に身につけさせたい資質・能力

①	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を習得する力
②	自分の身の回りにある自然の事物・現象に興味をもち、主体的に関わろうとする能力
③	科学的に物事を考える上で必要な、基礎学力の向上

### (2) 教科として取り組む具体的なアクション

①	実験、実習を通じ技能を身に付ける。前期では2～3回は各科目で実験実習を行い、技能を身に付けさせる。
②	身近な具体例を通し、興味・関心を高め主体的に関わろうとする能力を身に付けさせる。
③	単元ごとに計画的に小テストを実施する。

## 5. 保健体育科

### (1) 教科での学びを通して生徒に身につけさせたい資質・能力

①	主体的に運動の特性に応じた技能、社会生活における健康・安全についての知識に関心を持ち、理解しようとする姿勢
②	運動や健康について発見した自他の課題解決のために、自分の言葉で考察し、伝える能力
③	生涯にわたって継続して運動に親しむ態度と技能を身につけ、何ができているかを自分で分析できる能力

### (2) 教科として取り組む具体的なアクション

①	生徒同士で考える時間や振り返る時間を持ち、主体的に学ぶ力を身につけさせる。
②	ICTの効果的な活用方法を身につけさせ、それらを実践や振り返りに活かす。
③	する・見る・支えるなど運動の多様な楽しみ方を身につけさせる。

## 6. 芸術科

### (1) 教科での学びを通して生徒に身につけさせたい資質・能力

①	芸術を通して主体的に自己表現をしようとする姿勢
②	主体的・対話的学びから他者を受け入れ、多様性を認める能力
③	芸術作品に関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとする姿勢

### (2) 教科として取り組む具体的なアクション

①	主体的に授業に取り組むことで自己表現ができる力を育む。
②	表現を発表する機会を設け、自己表現や他者の表現方法を理解させる。
③	芸術鑑賞を通し、好きな表現や技法を見つけさせる。

## 7. 外国語科

### (1) 教科での学びを通して生徒に身につけさせたい資質・能力

①	基本的な語彙や表現を身に付ける
②	教科書を通して理解したことを元に自分の考えを表現し、伝え合う力
③	学習に粘り強く取り組み、自己を成長させていく態度

### (2) 教科として取り組む具体的なアクション

①	語彙や表現を活用するために、発展させるような課題を発見する態度を育てる。
②	コミュニケーションを行う際に、教科書の内容と関連付けたり、発展させたりできるように課題を発見し、解決に向ける。
③	5領域の中で、科目に応じた適切な支援を行い、「すべての生徒が科目ごとの一定の水準をクリアし、達成感を得られる」ように配慮する。

## 8. 家庭科

### (1) 教科での学びを通して生徒に身につけさせたい資質・能力

①	自分らしい生き方・暮らし方に興味をもち、主体的に探求しようとする姿勢。
②	様々な情報の中から、自分にとってのよりよい生活を考える能力。
③	環境問題を考え、よりよい生活をめざす上で必要な知識や生活技術。

### (2) 教科として取り組む具体的なアクション

①	環境問題に配慮し、生徒の実生活に結び付いた題材を設定した単元計画を行う。
②	毎時の授業、単元ごとに自分の言葉で考えをまとめる機会を設け、主体的で深い学びにつなげる。
③	ICTを活用し、確かな知識・技術を身に付けられるような実習を通じ、生活技術を向上させる工夫をする。

## 9. 情報科

### (1) 教科での学びを通して生徒に身につけさせたい資質・能力

①	情報を適切に扱い、自らの情報活用を評価・改善するための能力
②	情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力
③	生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や影響を理解し、情報モラルの必要性や責任について考える能力

### (2) 教科として取り組む具体的なアクション

①	メディア活用のために必要な技能の習得を、1年間を通じて継続的に取り組む。
②	画面の全体共有などを活用し、自分の進捗状況や周囲の進捗状況を把握し、客観的な視点で学習に取り組む態度を育てる。
③	相互評価を活用してPDCAサイクルを円滑にローテーションさせることで、技能の習得を高める。

## 10. 商業科

### (1) 教科での学びを通して生徒に身につけさせたい資質・能力

①	ビジネスに関する基礎知識、ビジネスに携わる際の基礎技能
②	経済や経営に関する社会の動きに興味を持ち、理解する能力
③	企業活動が社会で果たしている役割を理解し、自己の社会との関わり方に活かしていく能力

### (2) 教科として取り組む具体的なアクション

①	時事に合った教材教具の見直し改善を行い、学習意欲を高め、基礎学力の定着を図る。
②	ICTの利用を通して、生徒の知的好奇心を刺激し、正しいICTの使い方やマナーを意識した授業を行う。
③	実際に自分が経済活動を通して社会にかかわっていく心構えを学ばせる。